

本資料について

- 本資料は下記論文を基にして作成されたものです。文書の内容の正確さは保障できないため、正確な知識を求める方は原文を参照してください。
- 著者 : B. Aboba, W. Dixon
- 論文名 : IPsec-NAT Compatibility Requirements
- 出展 : RFC 3715
- 2004年5月

IPsec-NAT間の互換性

渡邊研究室

030432017 今村 圭佑

目次

- 第一章 IPsecとNATの概要
- 第二章 IPsecとNATの互換性問題
- 第三章 解決されるべき問題
- 第四章 解決策
- まとめ
- 参考文献

1.1 NAT概要

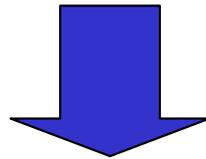
- Network Address Translation
 - ルータやデバイスに標準機能として取り付けてられている
 - ローカルアドレスとグローバルアドレスを透過的に相互変換

1.2 IPsec概要

- IPsecは、パケットを完全に運ぶ技術
- IPsecの利点
 - 専門家による厳しい検証に耐えてきた技術で極めて安全
 - IP通信にセキュリティ機能が提供されるため、アプリケーションに変更を加えることなく使用できる
- IPsecの欠点
 - プロトコルが複雑で理解しにくい
 - 異なるベンダのIPsec装置間で完全な相互接続が実現されていない
 - NATを通してIPsecを使用することができない

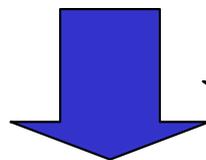
1.3 NAT透過の必要性

社内のLANなどに出張先からインターネット経由でアクセスしたい



強力な暗号化と認証を持つIPsecは極めて有効な手段

インターネットアクセスはNAT経由で接続されている場合が多い



NATを越えることが出来ないため

IPsecによるリモートアクセスを使用することが出来ない

2.1 NATとIPsec間の不適合性

- IPsec AHとNAT

- AHのパケットはトンネルモード、トランスポートモード共に、IPヘッダを認証の対象範囲に含んでいる



認証の対象範囲

- IPヘッダの内容を書き換えるNAT変換を行うと、AHの認証が出来ない

2.1 NATとIPsec間の不適合性

- IPsec ESPとNAT
 - NATはTCPとUDPヘッダのチェックサムを変更する



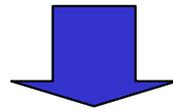
認証の対象範囲

■ 暗号化部分

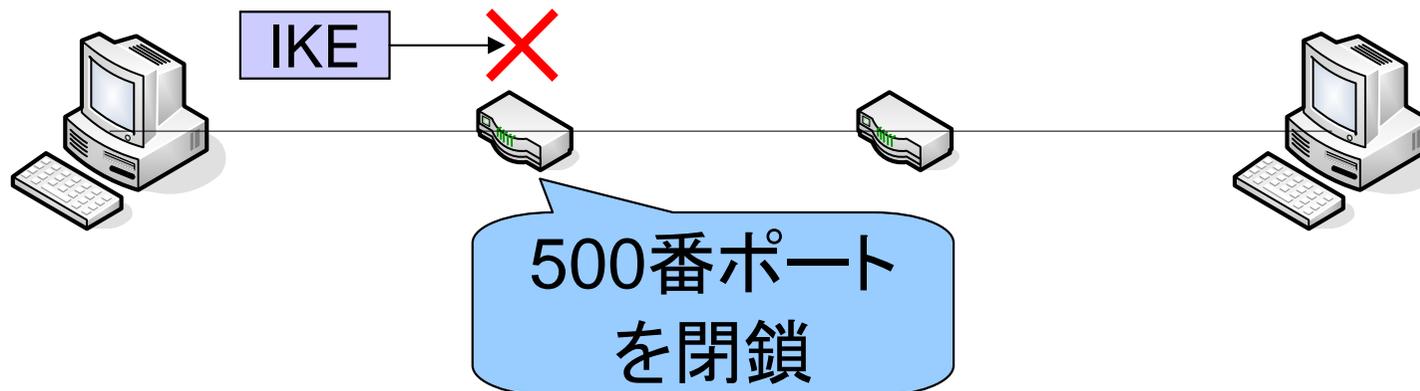
- 認証部分、暗号化部分に含まれるためTCPヘッダを変更できない

2.1 NATとIPsec間の不適合性

- IKE UDPポートを変更出来ない
 - IKEは、UDP500番ポートを使用する

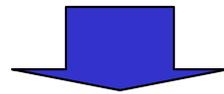


IKEパケットがNATを通過できない

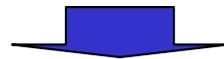


2.1 NATとIPsec間の不適合性

- 埋め込みアドレスとIKEパケットのアドレスとの不一致
 - ネゴシエーションの際に送信元IPアドレスをペイロードに埋め込み相手に送信する



送信側ノードの送信元アドレスが NAT によって変更



埋め込みアドレスと送信元アドレスの不一致

パケットが破棄されIKEネゴシエーションが中止される

3.1 解決されるべき問題

- 配備
 - IPv6が配備される前に解決する必要がある
- スケーリング
 - 何千もの機器、施設の中で適用するべきである
- モードサポート
 - トンネルモード、トランスポートモード共に適用されるべきである
- ファイアウォール互換性
 - IKEパケットを通すなどポート番号の解決
- セキュリティ
 - NAT透過を解決したことにより、セキュリティの脆弱性をもたらしてはいけない

4.1 解決策

- IPsecトンネルモード
- RSIP (Realm Specific IP)
- 6to4
- IPsec NAT-Traversal

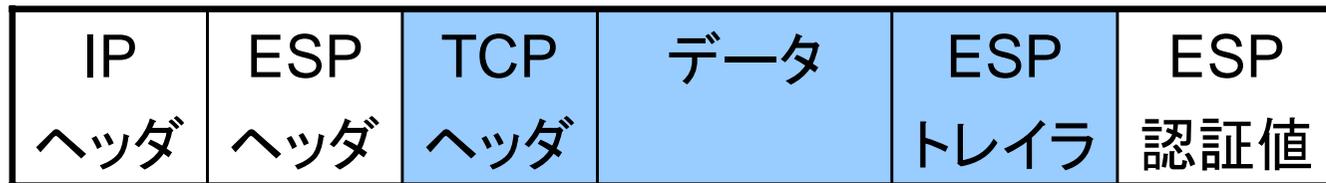
4.2 解決策～6to4～

- 6to4
 - IPsec化したIPv6のパケットをIPv4のパケットでカプセル化
 - IPsecを使用しているIPv6および6to4ネットワーク内しか使用できない
 - カプセル化によるスループットの低下
 - カプセル化部分は改ざんされる可能性がある



4.3 解決策～IPsec NAT-Traversal～

- IPsec NAT-Traversal
 - ESPに対するUDPのカプセル化
 - IKEヘッダの修正



ESPTランスポートモード



← 認証の対象範囲

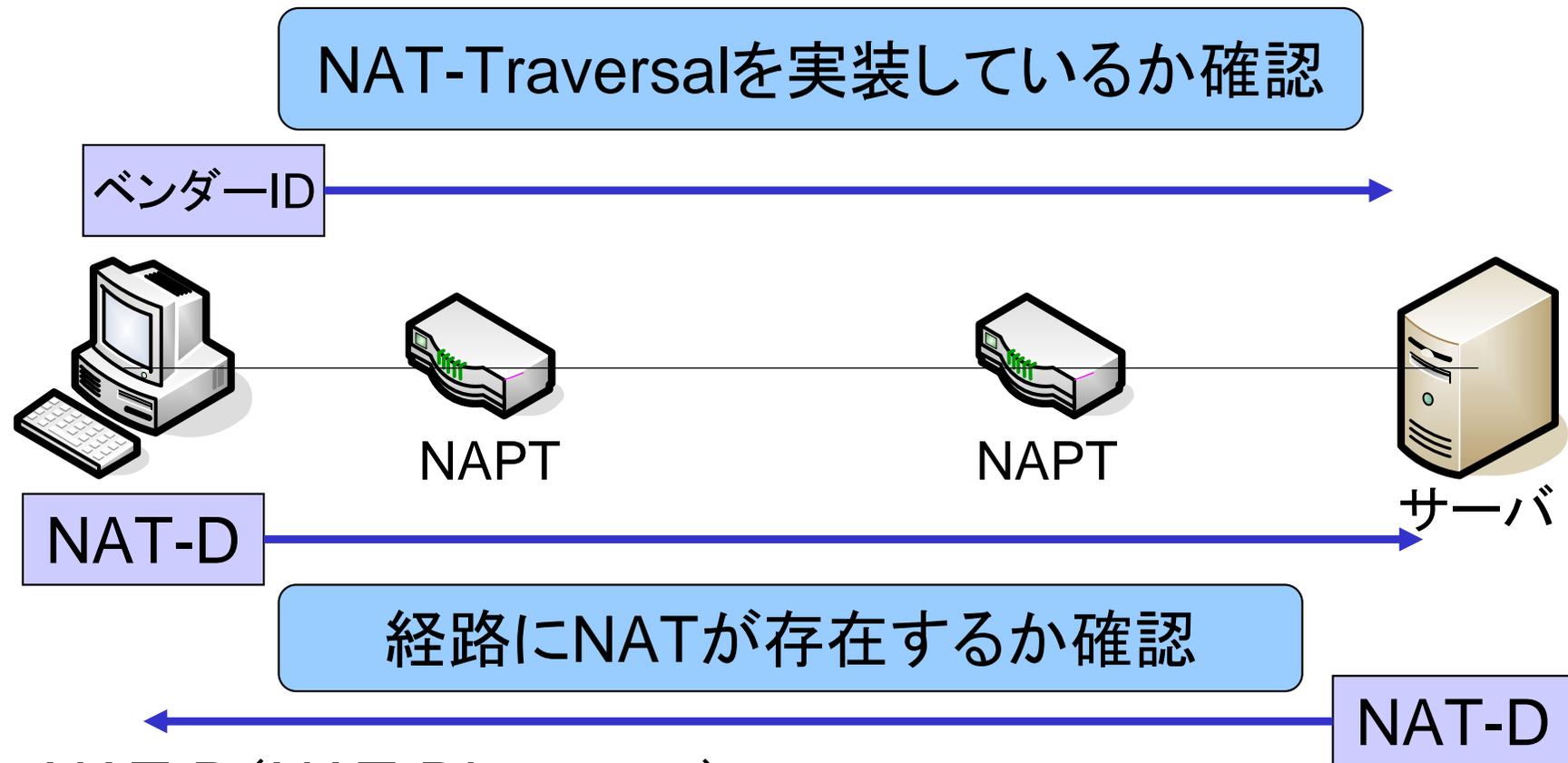
暗号化部分

UDPヘッダの追加

UDPカプセル化

4.3 解決策～IPsec NAT-Traversal～

- IPsec NAT-Traversal動作



NAT-D (NAT-Discovery)

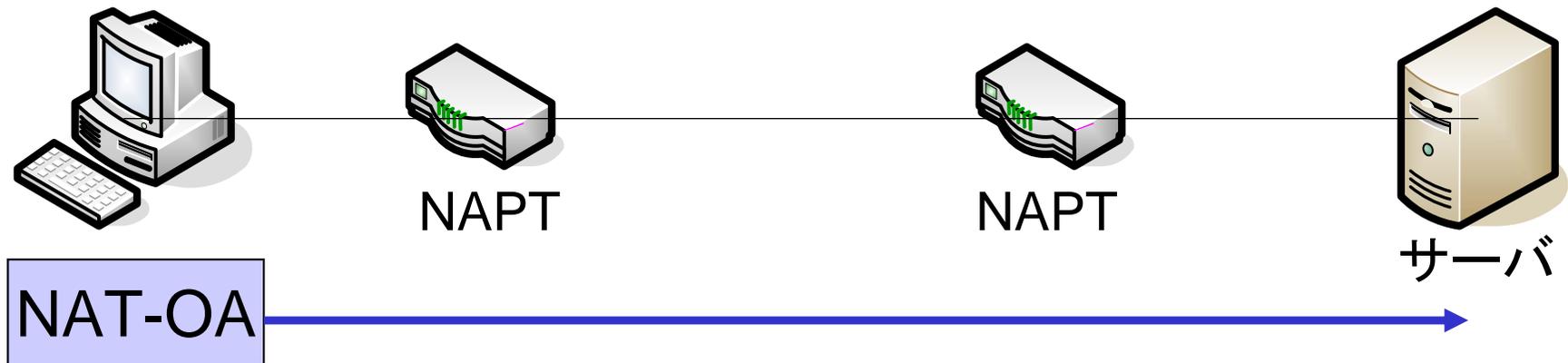
送信元IPアドレス、ポート番号のハッシュ値

宛先IPアドレス、ポート番号のハッシュ値

4.3 解決策～IPsec NAT-Traversal～

- IPsec NAT-Traversal動作

経路にNATが存在した場合・・・
IKEのポートを500から4500に変更



自分と相手の
IPアドレス

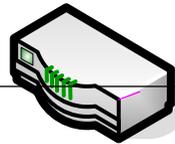
NATで変換される前のオリジナルの
送信元IPアドレスを知ることができる

NAT-OA (NAT Original Address)

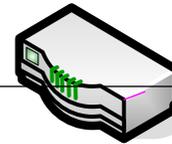
4.3 解決策～IPsec NAT-Traversal～

- IPsec NAT-Traversal動作

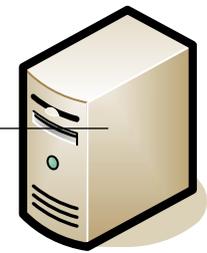
UDPでカプセル化



NAPT



NAPT



サーバ

オリジナルIPアドレスによってチェックサムを検証

カプセルを開放

多くの機器でNAT-Traversalが実装されており、NAT越えの一番の解決策である

まとめ

- IPsec-NATの互換性
 - アドレス、ポートの書き換えの問題
- 解決策
 - IPsecトンネルモード
 - RSIP (Realm Specific IP)
 - 6to4
 - IPsec NAT-Traversal

参考文献

IPsec-NAT Compatibility Requirements

RFC 3715

UDP Encapsulation of IPsec ESP Packets

RFC 3948

IPsec徹底入門

著 小早川知昭

終わり